

[軽吐]ドセタキセル(3週毎)療法(乳)

外科: 管理番号 D29

処方医

適応: 乳がん(進行・再発)

(進行再発)3週を1コースとし6コース継続を目安とする

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
ドセタキセル	●																					●

身長: cm 体重: kg 体表面積 m²

[投与スケジュール] (クール目)

Day1(月日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食250mL [90分 点滴静注]	1瓶	生食50mL	1瓶
		デキサート注 [30分 点滴静注]	6.6mg
		生食250mL ドセタキセル60~75mg/m ² [1時間] [壊死性] アレルギー症状注意 特に初~2回投与時 ほぼ10分 以内 投与中1時間観察	1瓶
		生食20mL [静注]	1管

Day1(月日)~3(月日)

薬剤名	投与量
デカドロン錠	1回4mgを4回内服(当日昼食後、翌日朝食後翌日昼食後、翌々日朝食後)

[適性使用基準]

薬剤師:

- PS(Performance Status)が0~2である
- *2. 好中球が2000未満ではない
- *3. 感染症を合併していない
- *4. 重篤な骨髄抑制がない
5. 間質性肺炎または肺線維症がない
6. 肝障害がない
7. 腎障害がない
8. 浮腫がない
9. 重篤な心障害がない
10. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

[DLF]	好中球減少
ドセタキセル	肝障害時用量調節
ドセタキセル	[今回の投与量] [累積投与量]
	mg/body mg/body

投与前検査	項目	基準値
	* WBC (/μL)	4000以上が望ましい
	* Neut (/μL)	0
	PLT (/μL)	10万以上が望ましい
	HGB (g/dL)	8.0以上が望ましい
	GOT (IU/L)	82.5以下が望ましい
	GPT (IU/L)	105以下が望ましい
	TBil (mg/dL)	1.95以下が望ましい
	Cr (mg/dL)	1.05以下が望ましい
	Ccr (mL/min)	60以上が望ましい

心電図検査	異常がないことが望ましい
肺機能検査 PO2	60Torr以上が望ましい

[骨髄抑制を考慮した投与量の調節]

WBC(/μL)	4000 ≤	2000 ≤	<4000	<2000
HGB(g/dL)	11.0 ≤	8.0 ≤	<11.0	<8.0
PL(/μL)	10万 ≤	5万 ≤	<10万	<5万
ドセタキセル100%	慎重投与		投与中止	
初回投与量	1段階減量		2段階減量	
70mg/m ²	60mg/m ²		50mg/m ²	
60mg/m ²	50mg/m ²		休薬	

[重大な副作用]

ドセタキセル

- ・骨髄抑制
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔呼吸困難・気管支痙攣・血圧低下・胸部圧迫感・発疹等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・心不全〔呼吸困難・むくみ等〕
- ・播種性血管内凝固症候群(DIC)
- ・腸管穿孔、胃腸出血〔腹痛・吐血・下血等〕
- ・浮腫・体液貯留
- ・心筋梗塞〔胸痛・呼吸困難等〕